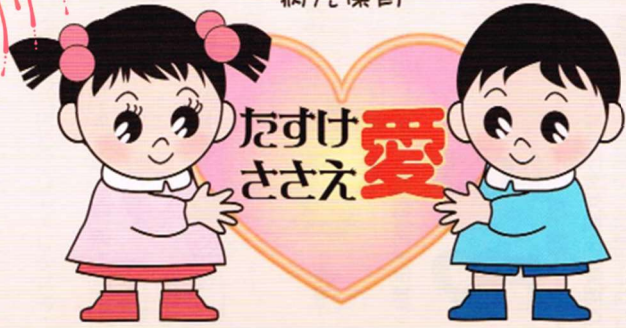


あいあいきっず

病児保育



令和 5 年 8 月号

太陽の下で大きく咲くヒマワリを見ると、パワーをもらえる気がします。立秋を過ぎ、残暑がいつそう身にこたえる日々が続いていますが、夏バテされていませんか？お盆や夏季休暇をご家族で満喫されたことと思います。

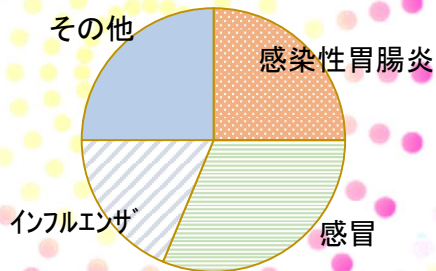
先月は多くのインフルエンザ感染症のお子さんの利用がありました。コロナ禍でしばらく流行がなかった為、当施設でも久しぶりのお預かりでした。比較的症状が軽めの子が多く、待機期間をゆっくりと過ごしました。また、熱中症様の症状の利用もありました。大人でも体調を崩す危険な暑さです。体温調節の未熟な子どもは、食事や睡眠不足等で熱中症のリスクが高くなります。普段と様子が違う場合は、無理せずに休息をとるように心がけましょう。まだまだ残暑厳しく今後も注意が必要です。

2023年		(報告週) 第31週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2023年)
インフルエンザ/COVID-19定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	694	7.63	22,095
	COVID-19	1,889	20.76	14,345
小児科定点	咽頭結膜熱	20	0.38	896
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	0.51	840
	○ 感染性胃腸炎	171	3.23	10,550
	水痘	2	0.04	132
	手足口病	43	0.81	887
	伝染性紅斑	1	0.02	45
	○ 突発性発しん	19	0.36	513
	ヘルパンギーナ	169	3.19	4,736
	流行性耳下腺炎	1	0.02	106
	RSウイルス感染症	135	2.55	3,860
	眼科定点	急性出血性結膜炎	-	-
流行性角結膜炎		12	1.71	102
基幹定点	○ 細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	2	0.17	2
	無菌性髄膜炎	-	-	4
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	-
報告数合計		3,185	0	59,115

○印は前週比



7月利用児病名割合



RSウイルス感染症

RSウイルスの感染による呼吸器の感染症で、何度も感染と発病を繰り返します。生後1歳までに半数以上が、2才までにはほぼ100%の子どもの少なくとも1度は感染すると言われています。

症状：発熱 鼻水 咳

潜伏期間：2～8日

感染経路：飛沫感染 接触感染

登園基準：呼吸器症状が消失し、全身状態がいいこと



厚労省 HP

予約受付時間7:30～20:00(月～土)

(日・祝日を除く)

病児病後児保育あいあいきっず

TEL 26-0404

不明点等、ご連絡下さい(^-^)

